

出演者プロフィール

< 指揮者 >



©濱津和貴

辻 博之 [つじ ひろゆき] (指揮) ※「辻」は一点しんじようが正式表記

東京藝術大学音楽学部声楽科在学中から、オペラ指揮者としての研鑽を積み、2017年オーケストラ・アンサンブル金沢定期公演に指揮デビュー。その後も、九響、読響、東フィル、札響、京響等と共演を重ねる。オペラ指揮を主軸としたクラシック音楽活動からディズニー・オン・クラシックまで枠にとられない活動は注目を集めている。



コロン えりか [ころん えりか] (ホワイトハンドコーラスNIPPON芸術監督/ソプラノ歌手)

ベネズエラ生まれ。聖心女子大学で教育学を学んだ後、英国王立音楽院声楽科を優秀賞で卒業。2019年東京国際声楽コンクールでグランプリ・歌曲両部門優勝。国内外で演奏活動を行い、キングレコードより「BRIDGE」をリリース。ホワイトハンドコーラスNIPPON芸術監督を務める。NHK「おかあさんといっしょ」手話版制作や音楽祭の企画を手がけ、国際学会や教育機関での講演・発表も精力的に行う。

< 声隊 / サイン隊 >

久留米第九を歌う会合唱団

[くるめだいくをうたうかいがっしょうだん]

2019年8月発足。同年の2019年は久留米市が誕生して130年、更に演奏会として久留米市民が初めて「第九」を聴いた時からちょうど100年という記念の年にあたり、演奏会を企画。久留米と「第九」の史実を伝承するために市民が大いに集い、歌い奏でている。



ホワイトハンドコーラスNIPPON

[ほわいとほんどこーらすにっぽん]

「舞台から未来を創る」Social Inclusion
ろう者、難聴、全盲、弱視、車いすユーザーなど、多様なメンバーを含むすべての子どもに開かれたインクルーシブな合唱団。障がいの有無に関わらず、また経済的な状況に関わらず、誰 f f f 手歌) サイン隊と、声で歌う声隊がともに奏でる音楽は、可能性に溢れた未来世代の芸術創造。2024年2月には「ZEROPROJECT」の招聘を受けオーストリア国会議事堂、国連ウィーン事務局で特別公演。

<ソリスト>



©深谷義宣 auraY2

鷺尾 麻衣 [わしお まい] (ソプラノ)

東京藝術大学卒業。新国立劇場オペラ研修所第7期修了。文化庁派遣芸術家研修員及びローム特別研究生として、ニューヨーク、ロンドンで研鑽を積む。ハンターカレッジ「安寿と厨子王」ではNYタイムズ紙に絶賛され、セントアンドリュース国際コンクール優勝等国内外での入賞多数。新国立劇場「ドン・ジョヴァンニ」、小澤征爾音楽塾「こうもり」、東京芸術劇場「真珠とり」、宮崎国際音楽祭「ラ・ボエーム」等で活躍。二期会会員。



鳥木 弥生 [とりき やよい] (メゾソプラノ)

E. オブラスツォワに見出され東欧で活動を開始。フィレンツェ市立歌劇場公演「ジャンニ・スキッキ」でオペラデビュー後、フランスでのビゼー「ジャミレ」主演他、各地で活躍。国内でも東京芸術劇場、日生劇場、新国立劇場等に主要な役柄で出演。表現力に秀でた本格派として、また「メゾソプラノ地位向上委員会」やONTOMO「歌曲で解決！恋愛お悩み相談室」など執筆、翻訳等のユニークな活動でも注目を集める。洗足学園音楽大学講師。



©Taira Tairadate

糸賀 修平 [いとが しゅうへい] (テノール)

武蔵野音楽大学、同大学院および新国立劇場オペラ研修所第10期修了。イタリア、ドイツにて研鑽を積む。オペラでは二期会「こうもり」アルフレード、「コジ・ファン・トゥッテ」フェランド、新国立劇場でも数多くの公演に出演。コンサートでは第33回、国技館5000人の第9テノールソリスト、日本フィル746回定期公演でフィンジ作曲「武器よさらばop.9」を歌い、好評を博した。二期会会員。



濱野 杜輝 [はまの としあき] (バリトン)

静岡県出身のバリトン。東京芸術大学・同大学院、ギルドホール音楽演劇学校、王立スコットランド音楽院修了。2023年イングリッシュ・ナショナル・オペラにフェローとして所属。ケンブリッジ・フィル「トゥーランドット」でピン役を務めた。2024年かながわ音楽コンクール声楽部門第1位。

<手歌ソリスト>



奈苗 [ななえ] (ソプラノ)

2020年ホワイトハンドコーラスNIPPON助演として参入。2023年よりアカンパニスト。ろう俳優、サインパフォーマーとして映画、舞台出演。



信太 美紗生 [しだ みさき] (メゾソプラノ)

現在高校1年生。2017年より初期メンバーとしてホワイトハンドコーラスサイン隊に参加。これまでに、パプリカfoorin楽団メンバー（手歌、2019～2021）としてドキュメントシリーズ、MVなど出演。NHK出版「ひろがれ!いろとりどり」テーマソング「ツバメ」手歌版の写真図解を務める。



並木 晴二郎 [なみき せいじろう] (テノール)

現在、大学1年生。2023年夏よりホワイトハンドコーラスの活動に参加し、「第九」ではテノールを担当。コーラスでの経験を通して身体表現に強く興味を持ち、大学では映像制作や身体表現の創造を学んでいる。



井崎 哲也 [いざき てつや] (バリトン/手歌監修)

日本ろう劇団顧問、俳優。佐賀県出身。1980年「日本ろう者劇団」設立のメンバー。「社会福祉法人トット基金 トット文化館」手話教室講師、ホワイトハンドコーラスNIPPON手話指導。2022年にNHKで放送した「しずかちゃんとパパ」に出演。



新谷 綸 [にいや りん] (全パート対応カバー)

難聴のいところに誘われ2022年度からホワイトハンドコーラスNIPPON日本に参加。ろう者と関わりを通して日本手話やろう文化などに興味を持つ。細かい表情の変化や、表現の違いを表せるように日々研鑽に励んでいる。

< 演奏 >



©Keishi Asayama

坂本 彩・リサ [さかもと あや・りさ] (ピアノ)

第70回ミュンヘン国際音楽コンクールピアノデュオ部門第3位・聴衆賞。第7回国際ピアノデュオコンペティション第1位、第21回シューベルト国際ピアノデュオコンクール第1位。姉妹ともに東京藝術大学大学院修士課程にて学び、ロストック音楽・演劇大学(独)ピアノデュオ科修士課程、および国家演奏家資格課程を最優秀の成績で修了。FontecよりデビューCD「Duettist」をリリース。



森 洋太 [もり ようた] (ティンパニ)

武蔵野音楽大学卒業。2006年から小澤征爾音楽塾やサイトウ・キネン・フェスティバル、アフィニス夏の音楽祭などに参加。九州交響楽団首席ティンパニ・打楽器奏者、エリザベト音楽大学非常勤講師、平成音楽大学非常勤講師。